

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 7 月 16 日 (2009.7.16)

【公開番号】特開 2008-3408 (P2008-3408A)

【公開日】平成 20 年 1 月 10 日 (2008.1.10)

【年通号数】公開・登録公報 2008-001

【出願番号】特願 2006-174415 (P2006-174415)

【国際特許分類】

G 0 3 B 9/02 (2006.01)

G 0 3 B 9/04 (2006.01)

G 0 3 B 9/07 (2006.01)

G 0 3 B 11/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 9/02 B

G 0 3 B 9/04

G 0 3 B 9/07 B

G 0 3 B 11/00

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 5 月 28 日 (2009.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

開口の大きさが変更可能な絞りと、該絞りの開口に対して移動可能な N D フィルタと、  
該 N D フィルタを駆動するアクチュエータと、該アクチュエータを制御する コントローラ  
と、を有する光学機器であって、

前記 N D フィルタは、開放絞り開口よりも絞った状態の前記絞りの開口を第 1 の開口とし  
たとき、前記第 1 の開口の全体を覆うことが可能な大きさを有する第 1 の領域を備え、

前記 コントローラ は、該 第 1 の領域が前記第 1 の開口に対して退避する第 1 の位置と、  
前記 第 1 の領域が前記第 1 の開口の全体を覆う第 2 の位置との間で、常に前記 N D フィル  
タを停止することなく移動するよう前記アクチュエータを制御することを特徴とする光学  
機器。

【請求項 2】

前記 第 1 の領域 は、透過率が 75 % 以上の領域である 請求項 1 に記載の光学機器。

【請求項 3】

前記 第 1 の領域 は、第 1 の部分と、該第 1 の部分と前記 N D フィルタの移動方向に隣り  
合い且つ透過率が前記第 1 の部分よりも小さい第 2 の部分と、を含んでいる請求項 1 又は  
2 に記載の光学機器。

【請求項 4】

前記 第 1 の領域 は、透過率が 75 % 以上の第 1 の部分と、該透過率 75 % 以上の第 1 の  
部分と前記 N D フィルタの移動方向に隣り合い且つ透過率が 75 % よりも小さい第 2 の部  
分と、を含んでいる請求項 1 又は 2 に記載の光学機器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】光学機器

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明の一側面としての光学機器は、開口の大きさが変更可能な絞りと、該絞りの開口に対して移動可能なNDフィルタと、該NDフィルタを駆動するアクチュエータと、該アクチュエータを制御するコントローラと、を有する。そして、NDフィルタは、開放絞り開口よりも絞った状態での上記絞りの開口を第1の開口としたとき、第1の開口の全体を覆うことが可能な大きさを有する第1の領域を備え、コントローラは、該第1の領域が第1の開口に対して退避する第1の位置と、第1の領域が第1の開口の全体を覆う第2の位置との間で、常に前記NDフィルタを停止することなく移動するようアクチュエータを制御することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】